

本人調査・ひとり暮らし調査票

前回調査からの主な変更点

平成28年3月

大阪市 福祉局 高齢福祉課

【平成25年度調査からの変更にあたって】

各設問に見出しを付け、何についての設問かわかりやすくしました。

次期計画策定に向けて必要と考える設問を加える一方で、お答えいただく高齢者の負担軽減の観点から、設問や選択肢をできるだけ削減しました。

平成25年度
(本人・ひとり暮らし・会食サービス利用者・老人憩の家利用者)
【全66問】



平成28年度
(本人・ひとり暮らし)
【全54問】

その他、問い番号や文言の修正などを行っております。

案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由
7	高齢福祉課	<p>問10 あなたが、現在、健康のために気をつけていることは、次のうちどれですか。(はいいくつでも)</p> <p>問11 あなたが今後、健康のために取り組みたいこと、興味のあることは次のうちどれですか。(はいいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 体操、スポーツ、ウォーキングなど体力を維持するための運動 2 歯磨きや入れ歯の手入れなど、口の中の健康を保つこと 3 栄養バランスのとれた食生活 4 休養や睡眠に気をつける 5 規則正しい生活を送る 6 禁煙 7 お酒を飲まない、または飲みすぎないようにする 8 健康づくりや介護予防のための知識を学ぶこと 9 定期的に健康診断を受ける 10 掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする 11 近所付き合いや友人に会うなど積極的に人と会うこと 12 ボランティア活動やさまざまな行事などに参加する 13 その他 14 特にない 	<p>問10、 問11を 問8へ 再編</p>	<p>問8 あなたが、介護予防として、今取り組んでいること、または、今後取り組みたいことは何ですか。(はいいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツなどの運動や体操により体力を維持する 2 栄養バランスのとれた食事をとる 3 歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ 4 町会、老人クラブなどの地域活動やボランティア活動に参加する 5 趣味や学習を楽しむ 6 近所の人や友達と交流する 7 掃除や洗濯、調理など自分でできることは自分でする 8 仕事をする 9 その他 10 特にない 	<p>健康づくりの視点で2問設けていたが、回答するご本人の負担軽減のためにも、介護予防に関する取組みを聞く質問1問にする。</p>

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成25年度)調査からの主な変更点

案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由
7	健康局 健康施策課	問13 あなたには、かかりつけの医師や歯科医師はおられますか。(はひとつ) 1 かかりつけの医師も歯科医師もいる 2 かかりつけの医師はいる 3 かかりつけの歯科医師はいる 4 かかりつけの医師も歯科医師もいない	問13を 問9、 問10に 分割	問9 あなたには、かかりつけの医師はおられますか。(はひとつ) 1 かかりつけの医師がいる 2 かかりつけの医師はいない	医師・歯科医師それぞれについて、自宅に来てくれるかどうか実情を把握するため。
7	健康局 健康施策課	上記問13		問9-1 【問9で「1」と回答された方へ】かかりつけの医師はあなたが通院出来なくなったときに自宅に来てくれますか。(はひとつ) 1 自宅に来てくれる(来てくれると思う) 2 来てくれない 3 わからない	
8	健康局 健康施策課	上記問13		問10 あなたには、かかりつけの歯科医師はおられますか。(はひとつ) 1 かかりつけの歯科医師がいる 2 かかりつけの歯科医師はいない	
8	健康局 健康施策課	上記問13		問10-1 【問10で「1」と回答された方へ】かかりつけの歯科医師はあなたが通院出来なくなったときに自宅に来てくれますか。(はひとつ) 1 自宅に来てくれる(来てくれると思う) 2 来てくれない 3 わからない	
8	健康局 健康づくり課	問14 あなたご自身の歯(根っこのある歯)は、どの程度ありますか。(はひとつ) 1 20本以上ある 2 10本以上19本以下である 3 9本以下である 4 全くない	選択肢 追加	問11 あなたご自身の歯(根っこのある歯)は、どの程度ありますか。(はひとつ) 1 20本以上ある 2 10本以上19本以下である 3 9本以下である 4 全くない 5 わからない	自身の歯の数を正確に把握できないことも考えられるため、「5 わからない」を追加。

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成25年度)調査からの主な変更点

案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由																												
9	健康局 健康施策課		問13を 追加	<p>問13 在宅で生活をしていて医療が必要になった時、どこに相談されますか？(はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 かかりつけの医師 2 かかりつけの歯科医師 3 区医師会(地域医療連携窓口など) 4 訪問看護ステーション 5 地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ランチ) 6 ホームヘルパー 7 介護支援専門員(ケアマネジャー) 8 区役所 9 ご家族や親族 10 友人・知人 11 その他() 	第6期計画でも重点施策と位置付けている「在宅医療・介護連携の推進」を今後も取り組んでいくにあたって、現状における利用状況や終末期を迎える場合の考え方等について質問を追加する。																												
9	健康局 健康施策課		問14を 追加	<p>問14 次の項目それぞれについて「利用している」「利用していないが知っている」「知らない」のいずれか該当するものを番号で選んでください。(はひとつづつ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用している</th> <th>利用していないが知っている</th> <th>知らない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 医師による訪問診療</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>(2) 歯科医師による訪問歯科診療</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>(3) 薬剤師による訪問薬剤管理指導</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>(4) 看護師などによる訪問看護</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>(5) 緊急時に対応してくれる医師または医療機関</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>(6) 緊急時に対応してくれる看護師または訪問看護</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		利用している	利用していないが知っている	知らない	(1) 医師による訪問診療	1	2	3	(2) 歯科医師による訪問歯科診療	1	2	3	(3) 薬剤師による訪問薬剤管理指導	1	2	3	(4) 看護師などによる訪問看護	1	2	3	(5) 緊急時に対応してくれる医師または医療機関	1	2	3	(6) 緊急時に対応してくれる看護師または訪問看護	1	2	3	第6期計画でも重点施策と位置付けている「在宅医療・介護連携の推進」を今後も取り組んでいくにあたって、現状における利用状況や終末期を迎える場合の考え方等について質問を追加する。
	利用している	利用していないが知っている	知らない																														
(1) 医師による訪問診療	1	2	3																														
(2) 歯科医師による訪問歯科診療	1	2	3																														
(3) 薬剤師による訪問薬剤管理指導	1	2	3																														
(4) 看護師などによる訪問看護	1	2	3																														
(5) 緊急時に対応してくれる医師または医療機関	1	2	3																														
(6) 緊急時に対応してくれる看護師または訪問看護	1	2	3																														

案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由
10	健康局 健康施策課		問15を 追加	<p>問15 万一、あなたが治る見込みのない病気になった場合、終末期(人生の最期)をどこで過ごしたいですか。なお、必要な医療については、それぞれの場所で受けることができるものとしてお答えください。(はひとつ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自宅 2 子どもの家や親族の家 3 高齢者向け住宅 4 特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどの介護施設 5 病院内に併設される集合住宅 6 病院などの医療機関 7 その他 8 わからない 	<p>第6期計画でも重点施策と位置付けている「在宅医療・介護連携の推進」を今後も取り組んでいくにあたって、現状における利用状況や終末期を迎える場合の考え方等について質問を追加する。</p> <p>また、新たな住まいづくりを見据え、選択肢に「5 病院内に併設される集合住宅」を追加する。</p>
10	健康局 健康施策課		問16を 追加	<p>問16 問15の終末期の過ごし方について、誰かと話し合ったことがありますか。(はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ご家族・親族 2 友人・知人 3 かかりつけ医 4 介護支援専門員(ケアマネジャー) 5 話し合ったことがない 6 その他 	<p>第6期計画でも重点施策と位置付けている「在宅医療・介護連携の推進」を今後も取り組んでいくにあたって、現状における利用状況や終末期を迎える場合の考え方等について質問を追加する。</p>

【地域での取組みに関する設問の見直しについて】

問23 近隣の方への支援について	}	→	問23 近隣への支援と近隣からの支援	p 5
問24 地域の方に支援してほしいこと				
問22 地域での見守りの取組みの認知度	}	→	問37 地域での見守りの取組みの認知度と必要性	p 6、p 7
問37 孤立死を防ぐのに必要(有効)と思う支援				


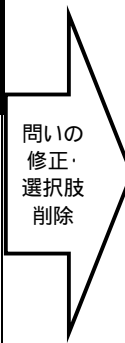
高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成25年度)調査からの主な変更点



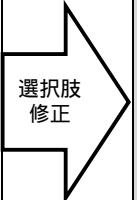
案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由																																	
14	高齢福祉課 ほか	<p>問23 近隣による支え合いや助け合いなどによる支援について、近所の方がお困りのとき、あなたがお手伝いできることはありますか。(はいいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 安否確認の見守りや声かけ 2 ちょっとした買い物の手伝い 3 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い 4 食事のおすそ分け 5 ゴミ出し 6 話し相手、相談相手 7 外出や通院の付き添い 8 災害時の手助け 9 その他 10 特になし 	<p>問24と あわせて 問23 へ集約</p>	<p>問23 次の項目それぞれについて、近隣の方がお困りのときあなたが支援できること、また、あなたがお困りのとき(今後、お困りになったとき)に地域の人に手助けをしてほしいことにをつけてください。(はいいくつでも)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>近所の方へ 支援できる</th> <th>近所の方から 支援してほしい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 安否確認の見守りや声かけ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) ちょっとした買い物の手伝い</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4) 食事のおすそ分け</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5) ゴミ出し</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(6) 話し相手、相談相手</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(7) 外出や通院の付き添い</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(8) 災害時の手助け</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(9) その他(具体的に記入してください)</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>(10) 特になし</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		近所の方へ 支援できる	近所の方から 支援してほしい	(1) 安否確認の見守りや声かけ			(2) ちょっとした買い物の手伝い			(3) 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い			(4) 食事のおすそ分け			(5) ゴミ出し			(6) 話し相手、相談相手			(7) 外出や通院の付き添い			(8) 災害時の手助け			(9) その他(具体的に記入してください)	()	()	(10) 特になし			<p>ご本人の負担軽減のため、問23に集約し、該当する項目にをつけていただく形式にする。</p>
	近所の方へ 支援できる	近所の方から 支援してほしい																																				
(1) 安否確認の見守りや声かけ																																						
(2) ちょっとした買い物の手伝い																																						
(3) 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い																																						
(4) 食事のおすそ分け																																						
(5) ゴミ出し																																						
(6) 話し相手、相談相手																																						
(7) 外出や通院の付き添い																																						
(8) 災害時の手助け																																						
(9) その他(具体的に記入してください)	()	()																																				
(10) 特になし																																						
14	高齢福祉課 ほか	<p>問24 あなたが、お困りのとき(今後、お困りになったとき)に、地域の人に手助けをしてほしいことはありますか。(はいいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 安否確認の見守りや声かけ 2 ちょっとした買い物の手伝い 3 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い 4 食事のおすそ分け 5 ゴミ出し 6 話し相手、相談相手 7 外出や通院の付き添い 8 災害時の手助け 9 その他 10 特になし 	<p>問23 へ集約</p>	<p>問23 上記のとおり</p>	<p>ご本人の負担軽減のため、問23に集約し、該当する項目にをつけていただく形式にする。</p>																																	

案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由																																																			
23	高齢福祉課 地域福祉課 ほか	<p>問22 高齢者など援護を必要とする方には、日常的な見守りや声かけなど、地域とのつながり、お互いに支え合う関係づくりが必要と考えますが、次の活動のうち、あなたが直接関わってなくても知っている範囲で、現在あなたの地域で行われている見守りに関する取り組みはありますか。(はいいくつか)</p> <p>1 地域ネットワーク委員・推進員による見守り・支援活動 2 地域における福祉のコーディネーター(地域福祉活動などの調整役)による、区ごとの新たな見守り・支援活動の取り組み 3 地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取り組み 4 弁当の配食時に安否確認を行う取り組み 5 集会所などで会食会を催し地域交流を深める取り組み(例:ふれあい食事サービス、ふれあい喫茶、いきいきサロン) 6 定期的に電話で安否確認を行う取り組み 7 健康づくりや介護予防に関する催し 8 近所の人と声を掛け合うこと 9 新聞や牛乳配達時の安否確認 10 その他 11 地域でどんな活動を行っているのか知らない</p>	<p>旧問37とあわせて問37へ集約</p>	<p>問37 孤立死を防ぐためには地域での見守りが必要です。支援を必要とする高齢者等を日常的に見守るための次の取組みのうち、あなたが知っている取組み及び必要(有効)と思う取組みに をつけてください。(はいいくつかでも)</p> <table border="1" data-bbox="1133 427 1731 1313"> <thead> <tr> <th></th> <th>知っている</th> <th>必要(有効)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス(例:大阪市緊急通報サービス、民間の会社が行う見守りサービス)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 地域ネットワーク委員・推進員や福祉のコーディネーター(地域福祉活動などの調整役)などによる、区ごとの見守り・支援活動の取組み</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4) 「見守り相談室」と地域の連携による見守り・支援の取組み</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5) 地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動など的高齢者の安否確認などの取組み</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(6) 弁当の配食時に安否確認を行う取組み</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(7) 集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み(例:ふれあい食事サービス、ふれあい喫茶、いきいきサロン)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(8) 身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(9) 定期的に電話で安否確認を行う取組み</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(10) ごみの引き取り時に異常があれば緊急連絡先に通報するサービス</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(11) 電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(12) 新聞や牛乳配達時の安否確認</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(13) 介護保険サービスなどの利用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(14) 健康づくりや介護予防に関する取組み</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(15) 友人や知人とのつながり</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(16) 近所の人と声を掛け合うこと</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		知っている	必要(有効)	(1) 緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス(例:大阪市緊急通報サービス、民間の会社が行う見守りサービス)			(2) 健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス			(3) 地域ネットワーク委員・推進員や福祉のコーディネーター(地域福祉活動などの調整役)などによる、区ごとの見守り・支援活動の取組み			(4) 「見守り相談室」と地域の連携による見守り・支援の取組み			(5) 地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動など的高齢者の安否確認などの取組み			(6) 弁当の配食時に安否確認を行う取組み			(7) 集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み(例:ふれあい食事サービス、ふれあい喫茶、いきいきサロン)			(8) 身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場			(9) 定期的に電話で安否確認を行う取組み			(10) ごみの引き取り時に異常があれば緊急連絡先に通報するサービス			(11) 電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認			(12) 新聞や牛乳配達時の安否確認			(13) 介護保険サービスなどの利用			(14) 健康づくりや介護予防に関する取組み			(15) 友人や知人とのつながり			(16) 近所の人と声を掛け合うこと			<p>ご本人の負担軽減のため、問36に集約し、見守りについての取組みの認知度及び必要性について、該当する項目にをつけていただく形式にして質問する。</p> <p>また、地域ネットワーク委員・推進員については、再編してコーディネーターに位置づけた区や存続している区、廃止している区等、区によって状況が異なることから、旧選択肢1と2を統合する。</p>
	知っている	必要(有効)																																																						
(1) 緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス(例:大阪市緊急通報サービス、民間の会社が行う見守りサービス)																																																								
(2) 健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス																																																								
(3) 地域ネットワーク委員・推進員や福祉のコーディネーター(地域福祉活動などの調整役)などによる、区ごとの見守り・支援活動の取組み																																																								
(4) 「見守り相談室」と地域の連携による見守り・支援の取組み																																																								
(5) 地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動など的高齢者の安否確認などの取組み																																																								
(6) 弁当の配食時に安否確認を行う取組み																																																								
(7) 集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み(例:ふれあい食事サービス、ふれあい喫茶、いきいきサロン)																																																								
(8) 身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場																																																								
(9) 定期的に電話で安否確認を行う取組み																																																								
(10) ごみの引き取り時に異常があれば緊急連絡先に通報するサービス																																																								
(11) 電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認																																																								
(12) 新聞や牛乳配達時の安否確認																																																								
(13) 介護保険サービスなどの利用																																																								
(14) 健康づくりや介護予防に関する取組み																																																								
(15) 友人や知人とのつながり																																																								
(16) 近所の人と声を掛け合うこと																																																								

案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由
23	高齢福祉課 地域福祉課 ほか	<p>問37 あなたは「孤立死」を防ぐために、どのような方法(支援)が必要(有効)と思いますか。(はいいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス (例:大阪市緊急通報サービス、民間の会社が行う見守りサービス) 2 健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 3 弁当の配達時に安否確認を行うサービス 4 集会所などで会食会を催し、地域交流を深めるサービス (例:ふれあい食事サービス、ふれあい喫茶、いきいきサロン) 5 定期的に電話で安否確認を行うサービス 6 ごみの引き取り時に異常があれば緊急連絡先に通報するサービス 7 福祉のコーディネーター(地域福祉活動などの調整役)の配置や、友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動など高齢者の安否確認などの取り組み 8 介護保険サービスなどの利用 9 健康づくりや介護予防に関する取り組み 10 友人や知人とのつながり 11 近所の人と声を掛け合うこと 12 電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認 13 新聞や牛乳配達時の安否確認 14 その他 	<p>問22とあわせて問37へ集約</p>	<p>問37 上記のとおり</p>	<p>ご本人の負担軽減のため、問36に集約し、見守りについての取組みの認知度及び必要性について質問する。</p>

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成25年度)調査からの主な変更点


案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由
13	地域福祉課	<p>問20 あなたが、現在、継続的に参加している団体や集まりはありますか。(はいいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町会、自治会、女性会などの地域団体 2 趣味のサークル・団体 3 健康・スポーツのサークル・団体 4 老人クラブ 5 退職者の組織(OB会など) 6 ボランティア団体(社会奉仕団体) 7 NPOなどの市民活動団体 8 生涯学習のサークル・団体 9 商工会・同業者団体 10 シルバー人材センターなどの就業組織 11 その他 12 参加していない 	 <p>選択肢 削除</p>	<p>問21 あなたが、現在、継続的に参加している団体や集まりはありますか。(はいいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町会、自治会、女性会などの地域団体 2 趣味のサークル・団体 3 健康・スポーツのサークル・団体 4 老人クラブ 5 退職者の組織(OB会など) 6 ボランティア団体(社会奉仕団体) 7 NPOなどの市民活動団体 8 商工会・同業者団体 9 シルバー人材センターなどの就業組織 10 その他 11 参加していない 	<p>選択肢8「生涯学習のサークル・団体」については、選択肢2「趣味のサークル・団体」に包含できると考えるため、選択肢8を削除。</p>
14	高齢福祉課 ほか	<p>問21 だれもが地域で安心して自分らしく暮らしていくためには、住民や行政をはじめ、地域にかかわるすべての人が力を合わせて、共に生き共に支え合い、みんなが生活を共に楽しむ地域を作り上げていく必要があります。今後、少子高齢化が進んでいく中、地域社会を支える担い手として、高齢者のより一層の活躍が期待されますが、あなたが、地域社会に貢献できるとお考えの活動はどのようなことですか。(はいいくつでも)</p>	 <p>問いの 修正・ 選択肢 削除</p>	<p>問22 今後、少子高齢化が進んでいく中、地域社会を支える担い手として、高齢者のより一層の活躍が期待されますが、あなたが、地域社会に貢献できるとお考えの活動はどのようなことですか。(はいいくつでも)</p>	<p>ご本人の負担軽減のため、問いの文章を削減する。また、就労の状況や意向については問18・問19で把握しているため、選択肢1「仕事・働くこと」を削除。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1 仕事・働くこと 2 ボランティア活動 3 NPOなどの市民活動 4 地域の防災・防犯などの活動 5 区役所が主催する活動 6 高齢者を支援する活動 7 青少年や子どもたちを支援する活動 8 障がい者を支援する活動 9 地域活動・団体などへの金銭的援助 10 その他 11 特になし 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ボランティア活動 2 NPOなどの市民活動 3 地域の防災・防犯などの活動 4 区役所が主催する活動 5 高齢者を支援する活動 6 青少年や子どもたちを支援する活動 7 障がい者を支援する活動 8 地域活動・団体などへの金銭的援助 9 その他 10 特になし 			

案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由
16	高齢福祉課 ほか	<p>問27 あなたは、特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)に入所することになった場合、どちらの施設に入りたいと思われますか。(はひとつ)</p> <p>1 従来型特別養護老人ホーム 4人部屋を基本として、おおむね30人から50人程度の集団生活を営みながら、食事、入浴、排泄などの日常生活において必要な介護を提供します。</p> <p>2 ユニット型特別養護老人ホーム すべて個室で、おおむね10人程度の少人数を生活単位として、居間・食堂などの共有スペースを設け、個々の生活リズムに配慮した介護を提供します。</p> <p>3 どちらでもよい</p>		<p>問26 あなたは、特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)に入所することになった場合、どちらの施設に入りたいと思われますか。(はひとつ)</p> <p>1 多床室の特別養護老人ホーム 4人部屋(多床室)を基本として、おおむね30人から50人程度の集団生活を営みながら、食事、入浴、排泄などの日常生活において必要な介護を提供します。</p> <p>2 ユニット型個室の特別養護老人ホーム 多床室より居住費が少し高くなりますが、すべて個室で、おおむね10人程度の少人数を生活単位として、居間・食堂などの共有スペースを設け、個々の生活リズムに配慮した介護を提供します。</p> <p>3 どちらでもよい</p> <p>居室イメージ図を挿入</p>	<p>設問をわかりやすくするため、選択肢を修正し、居室イメージを挿入する。</p>
16	高齢福祉課 ほか	<p>問5 あなたのお住まいの住宅は、高齢者が安全・安心に暮らす対応がされていますか。</p> <p>1 室内の段差などを解消している(されている)</p> <p>2 階段や廊下などに手すりを設置している(されている)</p> <p>3 トイレや浴室を使いやすく改修している(されている)</p> <p>4 緊急時対応の職員が配置されている</p> <p>5 特に対応していない(対応されていない)</p> <p>6 わからない</p>		<p>問27 あなたのお住まいの住宅で、安全・安心に暮らすために、どのような対応がなされればよいと思いますか。(はいくつでも)</p> <p>1 室内の段差の解消</p> <p>2 階段や廊下などへの手すりの設置</p> <p>3 トイレや浴室の改修</p> <p>4 緊急時に対応する設備の設置</p> <p>5 今のままでよい</p> <p>6 わからない</p>	<p>高齢者保健福祉計画策定のうえでは、現在お住まいの住宅の状況をお聞きするよりも、高齢者がより安全・安心に暮らせるようにするために、住まいに対してハード面でどのようなニーズがあるかを把握する方が有効であるため。</p>
17	高齢福祉課 ほか	<p>問28 あなたは、介護や支援が必要になった場合、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(はひとつ)</p> <p>1 ご家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けたい</p> <p>2 介護保険サービスの居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けたい</p> <p>3 段差の解消や手すりの設置をしていたり、緊急時対応の職員がいたりするなど、高齢者が安全・安心に暮らす対応がされた住宅に入居したい</p> <p>4 介護付有料老人ホームやケアハウス、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)などに入居したい</p> <p>5 特別養護老人ホームなどの施設に入所したい</p> <p>6 その他</p> <p>7 わからない</p>		<p>問28 あなたは、介護や支援が必要になった場合、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(はひとつ)</p> <p>1 ご家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けたい</p> <p>2 介護保険サービスの居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けたい</p> <p>3 高齢者向けに配慮された住宅(サービス付き高齢者向け住宅など)に入居したい</p> <p>4 特別養護老人ホームなどの施設に入所したい</p> <p>5 その他</p> <p>6 わからない</p>	<p>選択肢をわかりやすくするため。</p>

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成25年度)調査からの主な変更点

案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由
20	地域福祉課	<p>問32 あなたは、あなた又はあなたの周囲の高齢者が「高齢者虐待」を受けた場合の通報・相談先をご存知ですか。(はひとつ)</p> <p>1 知っている 2 知らない</p> <p>!ひとこと! 「高齢者虐待」の通報・相談窓口は各区保健福祉センター及び地域包括支援センターです。</p>	問いの修正	<p>問32 あなたは、あなた又はあなたの周囲の高齢者が身近な人からの暴力や暴言、身体拘束や閉じ込め、介護や世話の放棄といった「高齢者虐待」を受けた場合の通報・相談先をご存知ですか。(はひとつ)</p> <p>1 知っている 2 知らない</p> <p>!ひとこと! 「高齢者虐待」の通報・相談窓口は各区保健福祉センター及び地域包括支援センターです。そのほか、消費者被害など高齢者の権利擁護に関する相談にも対応しています。</p>	「高齢者虐待」の概念が幅広く、より具体的な記載を加えることでわかりやすくするため。
21	高齢福祉課	<p>問34 あなたは、あなた又はあなたのご家族が認知症について不安に感じるときは、どちらに相談されますか。(はいくつでも)</p> <p>1 かかりつけの医師 2 地域の精神科・神経内科などの医療機関 3 認知症疾患医療センター(大阪市立大学医学部附属病院、ほくとクリニック病院、大阪市立弘済院附属病院) 4 民生委員・町会などの地域役員 5 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者 6 地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ランチ) 7 区役所・保健福祉センター 8 その他 9 どこに相談すればいいかわからない</p>	選択肢追加	<p>問34 あなたは、あなた又はあなたのご家族が認知症について不安に感じるときは、どちらに相談されますか。(はいくつでも)</p> <p>1 かかりつけの医師 2 地域の精神科・神経内科などの医療機関 3 認知症疾患医療センター(大阪市立大学医学部附属病院、ほくとクリニック病院、大阪市立弘済院附属病院) 4 民生委員・町会などの地域役員 5 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者 6 地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ランチ) 7 認知症初期集中支援チーム 8 区役所・保健福祉センター 9 その他 10 どこに相談すればいいかわからない</p>	新規事業である認知症初期集中支援チームについて、選択肢に追加し、利用状況等を把握する。

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成25年度)調査からの主な変更点


案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由
25	地域福祉課	<p>問41 あなたは、困ったときにどちらに相談されますか。 (はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 同居のご家族 2 別居している親族 3 友人・知人・近所の人 4 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者 5 お住まいの住宅の生活相談員 6 民生委員 7 町会・自治会・地域活動協議会、地域社会福祉協議会など、地域で見守り活動を行っている団体 8 地域ネットワーク委員・推進員 9 区によって新たに配置された福祉のコーディネーター(地域福祉活動などの調整役) 10 区社会福祉協議会 11 地域包括支援センターや総合相談窓口(ブランチ) 12 病院・かかりつけの医師 13 その他() 14 地域で相談するところはない 15 わからない 	 <p>選択肢 修正</p>	<p>問41 あなたは、困ったときにどちらに相談されますか。 (はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 同居のご家族 2 別居している親族 3 友人・知人・近所の人 4 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者 5 お住まいの住宅の生活相談員 6 民生委員 7 町会・自治会・地域活動協議会、地域社会福祉協議会など、地域で見守り活動を行っている団体 8 地域ネットワーク委員・推進員や福祉のコーディネーター(地域福祉活動などの調整役) 9 区社会福祉協議会 10 地域包括支援センターや総合相談窓口(ブランチ) 11 病院・かかりつけの医師 12 その他() 13 地域で相談するところはない 14 わからない 	<p>地域ネットワーク委員・推進員については、再編してコーディネーターに位置づけた区や存続している区、廃止している区等、区によって状況が異なることから、旧選択肢8と9を統合する。</p>


高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成25年度)調査からの主な変更点

案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由
26	高齢福祉課	<p>問42 次の施設や事業について、あなたの利用状況や意向をお答えください。(は状況・意向欄にそれぞれひとつずつ)</p> <p>(1)老人福祉センター (2)老人憩の家 (3)シルバー人材センター (4)生涯学習センターの高齢者向け講座 (5)生涯学習ルーム事業 (6)市立文化施設等敬老優待 (7)敬老優待乗車証 (8)高齢者入浴利用料割引事業 (9)市立スポーツ施設の高齢者割引</p> <p><利用(参加)状況> 1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用したことはない 3 知らない</p> <p><利用(参加)意向> 1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい</p>	<p>問の修正・選択肢追加</p>	<p>問42 次の施設や事業について、あなたの利用状況や意向をお答えください。(は状況・意向欄にそれぞれひとつずつ)</p> <p>なお、利用状況欄で「2 知っているが利用していない」「3 知らない」を選択された方は、利用(参加)意向欄もお答えください。</p> <p>(1)老人福祉センター (2)老人憩の家 (3)シルバー人材センター (4)介護予防ポイント事業 (5)生涯学習センターの高齢者向け講座 (6)生涯学習ルーム事業 (7)市立文化施設等敬老優待 (8)敬老優待乗車証 (9)高齢者入浴利用料割引事業 (10)市立スポーツ施設の高齢者割引</p> <p><利用(参加)状況> 1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用したことはない 3 知らない</p> <p><利用(参加)意向> 1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい</p>	<p>問の文を追記するとともに、選択肢(4)に、新規事業である介護予防ポイント事業の認知度等を把握するために追加。</p>



案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由
27	高齢福祉課 地域福祉課	<p>問43 次の福祉サービス、制度について、あなたの利用状況や意向をお答えください。(は状況・意向欄にそれぞれひとつずつ)</p> <p>(1) 食事の配食サービス(大阪市生活支援型食事サービス) (2) 食事の会食サービス(ふれあい型食事サービス) (3) 日常生活用具給付事業 (4) 緊急通報システム (5) ごみの持ち出しサービス (6) あんしんサポート事業(日常生活自立支援事業) (7) 成年後見制度</p> <p>< 利用状況 > 1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用したことはない 3 知らない</p> <p>< 利用(参加)意向 > 1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい</p>	<p>問いの修正・選択肢修正</p>	<p>問43 次の福祉サービス、制度について、あなたの利用状況や意向をお答えください。(は状況・意向欄にそれぞれひとつずつ) なお、利用状況欄で「2 知っているが利用していない」「3 知らない」を選択された方は、利用(参加)意向欄もお答えください。</p> <p>(1) 食事の配食サービス(大阪市生活支援型食事サービス) (2) 日常生活用具給付事業 (3) 緊急通報システム (4) ごみの持ち出しサービス (5) 見守り相談室による地域の見守り活動の支援(認知症高齢者見守りメール等) (6) あんしんサポート事業(日常生活自立支援事業) (7) 成年後見制度</p> <p>< 利用状況 > 1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用したことはない 3 知らない</p> <p>< 利用(参加)意向 > 1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい</p>	<p>問いの文を追記するとともに、各区で独自に実施する事業となった「食事の会食サービス(ふれあい型食事サービス)」を選択肢から外し、新規事業である「見守り相談室による地域の見守り活動の支援」について認知度等を把握するため、選択肢に追加。</p>

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成25年度)調査からの主な変更点

案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由
28	地域福祉課	<p>問44 あなたは、高齢者向けのサービスなどの情報をどこから得ていますか。(はいいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ご家族・友人・知人 2 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者 3 民生委員 4 町会・自治会・地域活動協議会、地域社会福祉協議会など、地域で見守り活動を行っている団体 5 地域ネットワーク委員・推進員 6 区によって新たに配置された福祉のコーディネーター(地域福祉活動などの調整役) 7 区社会福祉協議会 8 老人福祉センター 9 区役所・保健福祉センター 10 地域包括支援センターや総合相談窓口(ランチ) 11 「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌 12 市のホームページ(インターネット)、メールマガジンなど 13 新聞・テレビ・ラジオなど 14 その他() 15 特にない 	 <p>選択肢 修正</p>	<p>問44 あなたは、高齢者向けのサービスなどの情報をどこから得ていますか。(はいいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ご家族・友人・知人 2 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者 3 民生委員 4 町会・自治会・地域活動協議会、地域社会福祉協議会など、地域で見守り活動を行っている団体 5 地域ネットワーク委員・推進員や福祉のコーディネーター(地域福祉活動などの調整役) 6 区社会福祉協議会 7 老人福祉センター 8 区役所・保健福祉センター 9 地域包括支援センターや総合相談窓口(ランチ) 10 「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌 11 市のホームページ(インターネット)、メールマガジンなど 12 新聞・テレビ・ラジオなど 13 その他() 14 特にない 	<p>地域ネットワーク委員・推進員については、再編してコーディネーターに位置づけた区や存続している区、廃止している区等、区によって状況が異なることから、旧選択肢5と6を統合する。</p>

案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由
29	健康局 健康施策課 危機管理室 ほか	<p>問45 あなたは、高齢者のための施策としてどのような点に重点を置くべきだと考えていますか。主なものに3つまでをつけてください。(は3つまで)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健康づくり・介護予防の充実 2 生きがいづくり 3 就労支援 4 介護保険サービス(居宅サービス)の充実 5 介護保険サービス(施設サービス)の充実 6 介護保険外サービス(問43にある福祉サービスなど)の充実 7 認知症に関する施策の充実 8 虐待防止や財産保全などの権利擁護 9 高齢者施策に関する情報の提供と相談 10 民生委員・町会などの地域の見守り、相談機能の充実 11 若い世代との交流を促進するしくみづくり 12 防災対策の充実 13 公共交通機関のバリアフリー化の促進 14 公園や歩道など、安心して外出・休息できる場の整備 15 高齢者向け住宅や住宅改修助成の充実 16 その他() 17 特になし 	 <p>選択肢追加修正</p>	<p>問45 あなたは、高齢者のための施策としてどのような点に重点を置くべきだと考えていますか。主なものに3つまでをつけてください。(は3つまで)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健康づくり・介護予防の充実 2 生きがいづくり 3 就労支援 4 介護保険サービス(居宅サービス)の充実 5 介護保険サービス(施設サービス)の充実 6 介護保険外サービス(問43にある福祉サービスなど)の充実 7 認知症に関する施策の充実 8 在宅医療など地域での適正な医療提供体制の充実 9 虐待防止や財産保全などの権利擁護 10 高齢者施策に関する情報の提供と相談 11 民生委員・町会などの地域の見守り、相談機能の充実 12 若い世代との交流を促進するしくみづくり 13 防災対策の充実(災害時において避難支援等が必要な方(避難行動要支援者)の支援対策) 14 公共交通機関のバリアフリー化の促進 15 公園や歩道など、安心して外出・休息できる場の整備 16 高齢者向け住宅や住宅改修助成の充実 17 その他() 18 特になし 	<p>在宅医療に関する項目がなかったため、選択肢8に追加。また、選択肢13について、「防災対策」だけでは全般的な都市政策のように見えるとの指摘を受け、具体的な記載を追加。</p>

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成25年度)調査からの主な変更点

案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由
	高齢福祉課 都市整備局	<p>問4 あなたのお住まいの住宅は次のどれにあてはまりますか。</p> <p>1 持ち家(一戸建) 2 持ち家(マンションなどの共同住宅) 3 市営住宅・府営住宅 4 都市再生機構(旧公団)・公社の賃貸住宅 5 民間の賃貸住宅(6を除く) 6 サービス付き高齢者向け住宅 7 有料老人ホーム 8 その他</p> <p>【問4で「1 持ち家(一戸建)」と回答された方へ】 問4-1 お住まいの住宅の建築時期についてお答えください。</p> <p>1 昭和56年5月31日以前に完成 2 昭和56年6月以降に完成 3 わからない</p>			調査内容の大半が住宅の種類によらないものであり、住宅については、問27で安全・安心な住宅に関する希望を調査するため。
	高齢福祉課	<p>問12 大阪市が行っている介護予防事業(運動器の機能向上教室、なにわ元気塾など)について、あなたの参加状況をお答えください。(はひとつ)</p> <p>1 参加したことがある 2 知っているが参加したことはない 3 聞いたことはあるが、内容は知らないし、参加したこともない 4 聞いたことも参加したこともない</p> <p>【問12で「2～4」と回答された方に】 問12-1 介護予防事業について、あなたの参加意向をお答えください。(はひとつ)</p> <p>1 今後参加したい 2 参加したくない 3 内容によっては参加したい</p>			平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業へ移行するため、現行の介護予防事業の参加状況等の質問については、今回の調査では削除する。

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成25年度)調査からの主な変更点

案の頁	課	H25調査時		H28調査案	理由
【ひとり暮らし調査】					
	高齢福祉課 ほか			主な変更点なし	
【会食サービスの利用者調査】					
	高齢福祉課			削除(実施しない)	前回は市政改革の方針を受け、会食サービス(ふれあい型食事サービス)の利用者に対し、利用期間や満足度等を調査したが、既に各区で独自に実施する事業と位置付けたこともあり、今回は実施しないこととする。
【老人憩の家の利用者等調査】					
	いきがい課			削除(実施しない)	前回は市政改革の方針を受け、老人憩の家の利用者に対し、利用頻度等を調査したが、本人調査により利用状況や認知度を把握していることから、今回は実施しないこととする。